

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

ソニーグループの2009年度上半期（2009年4月1日から9月30日まで）の連結業績は、世界的な景気低迷や円高などの影響により前年同期比19.5%の減収となり、利益面においては、売上の減少に加え、円高による影響、構造改革費用の増加などにより、583億円の営業損失を計上いたしました。しかしながら、トランスフォーメーション（事業構造の改革）によるコスト削減は順調に推移しており、持分法による投資損益と構造改革費用の影響を除いた営業損益は、358億円の利益となりました。

2009年度の間配当金につきましては、1株につき12円50銭とし、本年12月1日を支払開始日とさせていただきます。

今後につきましても、長引く景気低迷、価格競争の激化など、引き続き不透明な事業環境が予想されますが、収益力改善と競争力強化のためのトランスフォーメーションを着実に実行し、成長に向けた基盤の確立に努めてまいります。ソニーグループの持つ優れたハードウェア、エンタテインメント、ソフトウェア、ネットワークを融合させることにより、お客様に豊かな体験と感動を提供することに注力してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年11月

ソニー株式会社
代表執行役 会長 兼 社長 CEO
ハワード・ストリンガー



2009年度四半期別連結業績について

第1四半期（2009年4月1日～6月30日）

| | | ()は前年同期比 |
|-----------------|-----------|-----------|
| 売上高および営業収入 | 1兆5,999億円 | (-19.2%) |
| 営業利益 | -257億円 | (-) |
| 税引前利益 | -329億円 | (-) |
| 当社株主に帰属する四半期純利益 | -371億円 | (-) |
| → 営業利益 | -257億円 | (-) |
| 控除: 持分法による投資利益 | -151億円 | (-) |
| 戻し入れ: 構造改革費用 | 339億円 | (-) |
| *上記調整後営業利益 | 233億円 | (-67.5%) |

・世界的な景気後退の継続や円高などの影響により営業損失を計上
・しかしながら、事業構造の改革効果によるコスト削減が想定を上回って進捗したことなどにより、持分法による投資損益および構造改革費用の影響を除いた営業損益は、黒字を達成

第2四半期（2009年7月1日～9月30日）

| | | ()は前年同期比 |
|-----------------|-----------|-----------|
| 売上高および営業収入 | 1兆6,612億円 | (-19.8%) |
| 営業利益 | -326億円 | (-) |
| 税引前利益 | -170億円 | (-) |
| 当社株主に帰属する四半期純利益 | -263億円 | (-) |
| → 営業利益 | -326億円 | (-) |
| 控除: 持分法による投資利益 | -123億円 | (-) |
| 戻し入れ: 構造改革費用 | 328億円 | (-) |
| *上記調整後営業利益 | 125億円 | (+16.0%) |

・持分法による投資損益および構造改革費用の影響を除いた営業損益は、黒字を達成し前年同期比増益
・事業構造の改革は予定通り進捗

*ソニーの経営陣は営業損益に加え、持分法による投資損益および構造改革費用による影響を除いた調整後営業損益を用いて業績を評価しています。この開示は、米国会計原則に則っていませんが、投資家の皆様にソニーの営業概況の現状および見通しを理解いただくための有益な情報を提供することによって、ソニーの営業損益に関する理解を深めていただくために表示しているものです。ソニーの経営陣はこの表示を営業状況の評価、比較分析、および事業構造の改革が計画通り進捗しているかどうかの検証のために使用しています。

新商品・トピックス



液晶テレビ「BRAVIA」 KDL-52ZX5

LEDバックライトを採用した薄型デザインとワイヤレス技術で「壁掛け」スタイルを実現しました。当社独自の4倍速動画表示機能「モーションフロー240コマ」により、動きの速い映像をくっきり・なめらかに再現できます。

※2009年5月15日以降のグリーン家電製品の購入に、エコポイントが付与されます。



ブルーレイディスクレコーダー BDZ-RX50

好みの番組を自動で選んで録画する「x-おまかせ・まる録」機能はそのままに、操作をわかりやすくガイドする「らくらくスタートメニュー」を新たに搭載し、多機能ながら簡単に操作できます。



デジタルカメラ「サイバーショット」 DSC-TX1

当社独自の「裏面照射型構造」のCMOSセンサー“Exmor R”を搭載し、室内や夜景などの暗所でもノイズの少ない高画質な写真を撮影できます。また、秒間10枚の高速連写やパノラマ撮影機能も搭載しています。



「ウォークマン®」 NW-A840シリーズ

高画質2.8型ワイド有機ELディスプレイを搭載した薄型の本体に高音質技術を凝縮。新たに歌詞表示機能「歌詞ビタ™」や語学学習機能などを搭載しました。また、音楽や動画の転送も手軽に行うことができます。



PSP®「プレイステーション・ポータブル」go (PSP-N1000)

PSPの新しいラインアップとして、さらなる小型・軽量化を実現し、さまざまなエンタテインメントコンテンツをもっと手軽にダウンロードして持ち出せるPSPgo。PlayStation®Networkで広がる新たなデジタルライフスタイルを提案します。

© 2009 Sony Computer Entertainment Inc. All rights reserved.
Design and specifications are subject to change without notice.



「プレイステーション 3」(HDD 120GB) (CECH-2000A)

初期モデル(HDD 60GB)を基準に、体積・厚さ・重さのいずれも約3分の2の薄型・軽量化を実現。幅広いユーザーの皆様に向けてより親しみやすいカジュアルなデザインに仕上げました。

© 2009 Sony Computer Entertainment Inc. All rights reserved.
Design and specifications are subject to change without notice.

遊助

「あの..こんなできましたケド。」

デビューシングル「ひまわり」から「たんぼぼ/海賊船/其の拳」、「いちよう」と大ヒットを続けている遊助のアルバムがいよいよ登場。豪華なコラボレーションを含む濃い内容に仕上がっています。

(2009年12月16日発売予定)



いきものがかり 「ハジマリノウタ」

世代を問わず人気を集めるいきものがかりのニューアルバム。第76回NHK全国学校音楽コンクール“中学校の部”課題曲の「YELL」、CMソングの「じょいふる」などのヒット曲を多数収録しています。

(2009年12月23日発売予定)



ジュリー&ジュリア

アメリカの食卓にフランス料理の一大革命をもたらした料理研究家ジュリア・チャイルド。その豪快かつ爽快な人生をメリル・ストリープ主演で映画化した、感動の実話です。(2009年12月12日公開予定)



© 2009 Columbia Pictures Industries, Inc. All rights reserved.

2012

「インデペンデンス・デイ」のローランド・エメリッヒ監督が、大迫力の映像で地球滅亡を描くパニック映画。2012年、マヤ文明の予言通り、驚愕の天変地異が世界を襲います。(2009年11月21日公開)



© 2009 Columbia Pictures Industries, Inc. All rights reserved.

ソニーグループを象徴するブランドメッセージの導入

SONY
make.believe

2009年9月、豊かな想像を現実に結びつけるというソニーが創業以来持ち続けている企業姿勢を“make.believe”（メイク・ドット・ビリーブ）という言葉で表現し、ソニーグループの新たなブランドメッセージとして全世界に導入することを発表しました。今後は、ソニーグループ内に有するユニークな商品やコンテンツ、サービスを、“make.believe”とともにお客様にお届けすることで、ブランド力のさらなる強化をめざします。

make.believe

| | |
|------|------|
| 行動 | 精神 |
| 実行する | 考える |
| 創る | 想像する |
| 形にする | 夢見る |

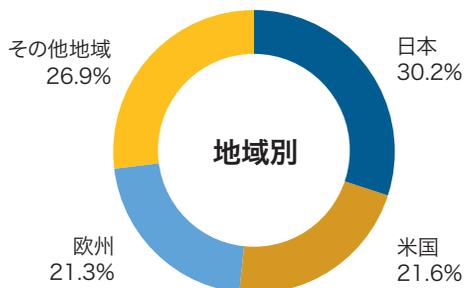
「.(ドット)」

“make”と“believe”を結びつけるソニーの役割

また、“make.believe”を具現化する一例として、2010年より、3Dによる新たな映像体験を家庭にお届けすることを発表しました。家庭における3Dエンタテインメント視聴の中心となる3D対応の液晶テレビ「BRAVIA」に加え、ブルーレイディスク対応機器、PC「VAIO」、「プレイステーション 3」などのハードウェアの3D対応についても開発を進め、3D映画や3D立体視ゲームなど、豊富なコンテンツを家庭でお楽しみいただけるよう取り組んでいきます。

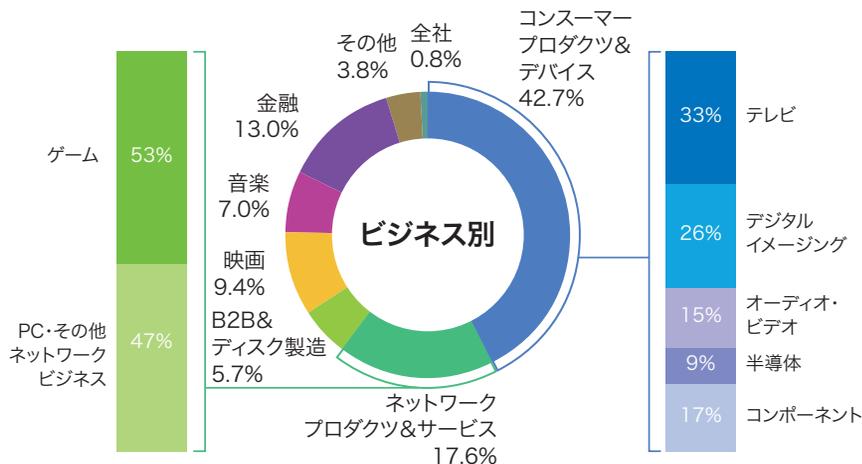
業績ハイライト (2009年度上半期)

■売上高構成比



(注1) 地域別およびビジネス別の売上高構成比は、外部顧客に対する売上高および営業収入にもとづいて算出したものです。

(注2) 地域別の売上高構成比は、顧客の所在地別に表示されています。



■ビジネス別営業概況

各分野の売上高および営業収入はセグメント間取引消去前のものであり、また各分野の営業利益（損失）はセグメント間取引消去前のもので配賦不能費用は含まれていません。

売上高および営業収入

| | 2008年度 上半期 | 2009年度 上半期 | 前年同期比 |
|---------------------|---------------|---------------|--------|
| | 億円 | 億円 | % |
| ■ コンシューマープロダクツ&デバイス | 23,242 | 15,733 | -32.3 |
| ■ ネットワークプロダクツ&サービス | 8,596 | 5,995 | -30.3 |
| ■ B2B&ディスク製造 | 2,933 | 2,236 | -23.7 |
| ■ 映画 | 3,557 | 3,065 | -13.8 |
| ■ 音楽 | 1,059 | 2,333 | +120.3 |
| ■ 金融 | 2,837 | 4,297 | +51.4 |
| ■ その他 | 1,621 | 1,238 | -23.6 |
| ■ 全社・セグメント間取引消去 | (3,331) | (2,285) | - |
| ■ 連結 | 40,513 | 32,611 | -19.5 |

営業利益（損失）

| | 2008年度 上半期 | 2009年度 上半期 | 前年同期比 |
|-------------------------------|---------------|---------------|--------|
| | 億円 | 億円 | 億円 |
| ■ コンシューマープロダクツ&デバイス | 1,031 | 69 | -962 |
| ■ ネットワークプロダクツ&サービス | (360) | (986) | -626 |
| ■ B2B&ディスク製造 | 188 | (148) | -336 |
| ■ 映画 | 27 | (46) | -73 |
| ■ 音楽 | 57 | 140 | +83 |
| ■ 金融 | 53 | 810 | +757 |
| ■ ソニー・エリクソンにおける 持分法による投資損益 | (10) | (253) | -243 |
| ■ その他 | 33 | (2) | -36 |
| ■ 全社・セグメント間取引消去 | (175) | (167) | - |
| ■ 連結 | 845 | (583) | -1,428 |

(注) 2009年4月1日付の機構改革にともない、2009年度よりビジネス別セグメント区分の変更を行いました。主に、従来のエレクトロニクス分野およびゲーム分野に含まれていた事業を再構成し、コンシューマープロダクツ&デバイス分野、ネットワークプロダクツ&サービス分野、B2B&ディスク製造分野を新設しました。また、音楽分野を新設し、ソニー・エリクソン（携帯電話事業の合併会社）の持分法による投資損益については、単独のセグメントとして表示しています。これにともない、2008年度の実績は修正再表示されています。

■主要連結財務データ

| | 2007年度 | | 2008年度 | | 2009年度 |
|------------------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | 上半期 | 通期 | 上半期 | 通期 | 上半期 |
| | 億円 | 億円 | 億円 | 億円 | 億円 |
| 売上高および営業収入 | 40,595 | 88,714 | 40,513 | 77,300 | 32,611 |
| 営業利益(損失) | 2,329 | 4,753 | 845 | (2,278) | (583) |
| ＊調整後営業利益(損失) | 2,118 | 4,218 | 826 | (1,273) | 358 |
| 税引前利益(損失) | 2,148 | 5,671 | 702 | (1,750) | (500) |
| 当社株主に帰属する四半期(当期)純利益(損失) | 1,402 | 3,694 | 558 | (989) | (634) |
| 基本的1株当たり当社株主に帰属する四半期(当期)純利益(損失)(円) | 139.79 | 368.33 | 55.60 | (98.59) | (63.18) |
| 設備投資額 | 1,708 | 3,357 | 1,848 | 3,321 | 1,051 |
| 研究開発費 | 2,577 | 5,206 | 2,566 | 4,973 | 2,090 |
| 総資産 | 124,709 | 125,527 | 129,724 | 120,135 | 124,738 |
| 純資産 | 35,455 | 37,419 | 36,945 | 32,166 | 31,684 |
| 1株当たり純資産(円) | 3,498.37 | 3,453.25 | 3,419.98 | 2,954.25 | 2,872.48 |

(注1) ソニーの経営陣は営業損益に加え、持分法による投資損益および構造改革費用による影響を除いた調整後営業損益を用いて業績を評価しています。この開示は、米国会計原則に則っていませんが、投資家の皆様にソニーの営業概況の現状および見通しを理解いただくための有益な情報を提供することによって、ソニーの営業損益に関する理解を深めていただくために表示しているものです。ソニーの経営陣はこの表示を営業状況の評価、比較分析、および事業構造の改革が計画通り進捗しているかどうかの検証のために使用しています。

(注2) 2008年度より、持分法による投資損益を営業損益の一部として表示しています。これにともない、2007年度の営業損益および税引前損益を2008年度以降の表示に合わせて組替え再表示しています。

(注3) 「当社株主に帰属する四半期(当期)純利益(損失)」は、2008年度までの「中間(当期)純利益(損失)」と同一の内容です。

(注4) 2009年度より、「純資産」には、連結財務諸表における非支配持分に関する新規会計基準適用にともない非支配持分を含めた資本合計を記載しています。これにともない、過年度の「純資産」を2009年度上半期の表示に合わせて組替え再表示しています。



投資家情報ウェブサイト

<http://www.sony.co.jp/IR/>

より詳しい業績の説明や資料については、
「株主情報」に掲載していますので、ご覧ください。

投資家情報ウェブサイトでは、トップマネジメントからのメッセージや業績、新製品・新技術などの情報をタイムリーに提供しています。

株式の状況／株主メモ

■株式の状況 (2009年9月30日現在)

| | | | |
|----------|----------------|-----------|-----------------------|
| 発行可能株式総数 | 3,600,000,000株 | 単 元 株 式 数 | 100株 |
| 発行済株式の総数 | 1,004,535,364株 | 上場証券取引所 | 東京・大阪・ ニューヨーク・ロンドン |
| 株 主 数 | 730,193名 | | |

株式の所有者別状況

| | 2007年度末 (2008年3月31日現在) | | 2008年度末 (2009年3月31日現在) | | 2009年度上半期末 (2009年9月30日現在) | |
|---------|---------------------------|---------|---------------------------|---------|------------------------------|---------|
| | 千株 名 | 名 | 千株 名 | 名 | 千株 名 | 名 |
| 外 国 人 | 508,166 | 1,371 | 391,611 | 1,394 | 417,853 | 1,431 |
| 金 融 機 関 | 216,108 | 297 | 254,990 | 269 | 237,513 | 249 |
| 個人・その他 | 234,246 | 633,045 | 311,695 | 755,092 | 297,734 | 724,222 |
| 一 般 法 人 | 31,101 | 4,108 | 35,954 | 4,419 | 34,971 | 4,202 |
| 証 券 会 社 | 14,822 | 124 | 10,286 | 68 | 16,463 | 89 |
| 合 計 | 1,004,443 | 638,945 | 1,004,535 | 761,242 | 1,004,535 | 730,193 |

■株主メモ

株式事務に関するお問い合わせ先

2009年1月5日より実施されました株券電子化にともない、株主様の各種お手続き（住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など）の窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

| | |
|--------------------|---|
| 証券会社に口座を開設されている株主様 | お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。 |
| 「特別口座*」に記録されている株主様 | 当社の特別口座管理機関(兼 株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎ 0120-232-7111 (通話料無料) |

* 株券電子化実施日において「株式会社証券保管振替機構(ほふり)」をご利用でない株主様の権利を確保するために、当社が当該株主様の名義で開設した口座です。

企業情報などに関するお問い合わせ先

ソニー株式会社 IR部門 SR部
〒108-0075 東京都港区港南1丁目7番1号

☎ 0570-010-222 (株主ナビダイヤル)

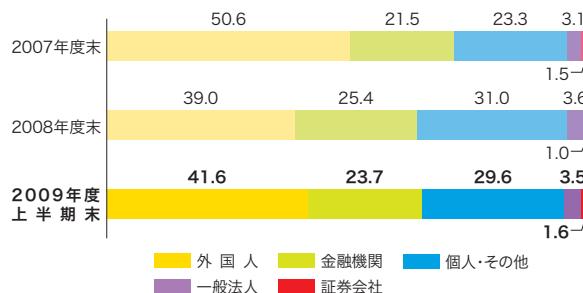
* 受付時間 9:30~17:30(土・祝日および会社休業日を除く)
* 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHSなど、ナビダイヤルがご利用になれない場合：**03-6748-2111** (代表)

✉ Kabu_net@jp.sony.com (株主Eメール)



所有者別の持株比率 (%)



CSR(企業の社会的責任)のウェブサイト

<http://www.sony.co.jp/csr>

企業の社会的責任に関する詳細情報をタイムリーに提供するとともに、その概要を簡潔にご報告する「CSRレポート2009 エグゼクティブ・サマリー」を掲載しています。

また、環境に関する取り組みをわかりやすくご紹介するコンテンツ「ソニーの「ECO」」や、社会貢献活動を写真や動画でお伝えする「スペシャルコンテンツ」など、さまざまな情報を提供しています。

